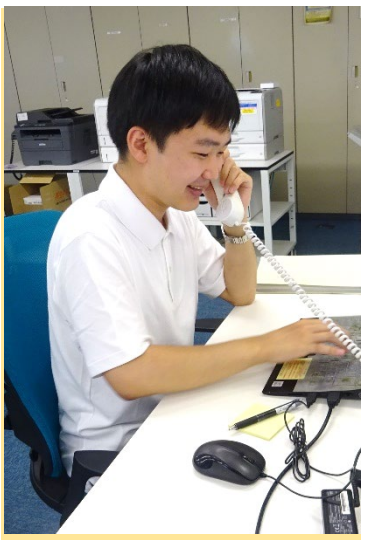
多岐にわたる行政分野の課題に向き合い、視野を広げる



藤田　龍颯
（令和５年度採用）

【1年目の業務内容、やりがいを感じたこと】

1年目は行政相談業務と調査業務の両方を経験し、行政相談委員さんの支援や、行政相談を知ってもらうためのPR活動等を行ったり、農地関連手続についての調査（地域計画調査）を行ったりしました。

この調査の結果、登記情報提供サービスの活用により、手続の際に申請者が登記所に行く手間を減らすことができて、やりがいを感じました。

【現在の業務内容、1年目との違い、心掛けていること】

現在は、令和3年に公表した「第4種踏切道の安全確保に関する実態調査」のフォローアップを実施しており、本省と連携しながら、4種踏切を減らす取組の現状を調べています。調査にあたっては職員同士で意見交換する機会が多いので、常に考え、自分の意見を持って調査に臨むよう心掛けています。

Q 中国四国管区行政評価局を志望したきっかけは？

A 興味のある省庁はいろいろあったのですが、行政評価局の、特定の分野だけでなく、行政の様々な分野を対象とした業務を行っている点に魅力を感じ、志望しました。また、特に調査では、調査が始まる度に新しい分野について勉強するので、それが楽しそうだと思ったことも行政評価局を志望するきっかけになりました。

Q 1年間勤務してみて入省前とイメージは変わりましたか？

A 若手職員の裁量が大きいとは聞いていたのですが、想像していた以上に大きいと感じています。行政評価局の調査テーマは、全ての職員が提案することができるのですが、私が１年目の時に提案したテーマについても他の職員のテーマと同様に議論されたりと、若手職員の提案も採用される可能性があるので、とてもやりがいを感じています。

Q 今後どのようなことにチャレンジしたいですか？

A データ分析等の研修が充実しているので、積極的に受講し、調査結果を取りまとめる際に活用し、公表資料をよりわかりやすいものにしたいと思います。

■ 受験生に向けてメッセージをお願いします！

行政評価局の特徴は、行政のあらゆる分野を対象として、自分たちで課題を見つけ、調査を企画できる点だと思います。ただ、他の省庁や地方自治体にも魅力的な職場がたくさんあるので、業務説明会などで情報を集め、自分にあった職場を探していただければと思います。就職活動は大変なことが多いですが、健康に気をつけて頑張ってください！

一日の勤務スケジュール

08:30	出勤、メールチェック、新聞等で常時監視活動
09:00	常時監視活動で発見した行政課題について情報収集
10:00	行政課題の情報を整理して本省に報告
11:00	午後の調査について室内で打合せ
12:00	昼休み
13:00	行政機関へのヒアリング
16:00	ヒアリング結果の整理
17:15	退庁